

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第3回枚方市環境審議会
開 催 日 時	令和2年3月23日（火） 18時00分から 19時00分まで
開 催 場 所	枚方市役所別館4階 第2委員会室
出 席 者	委 員：石川委員、日下委員、小林委員、高瀬委員、多田委員、谷本委員、 豊高委員、花田委員、廣寄委員、福岡委員、藤田委員、三田村委員、 安田委員、山本委員
欠 席 者	今堀委員、岡村委員、小嶋委員、小杉委員、白井委員、田中委員、中正委員、 益田委員
案 件 名	【案件】 （1）「第3次枚方市環境基本計画」の基本的な方向性について（部会報告） （2）今後のスケジュールについて
提出された資料等の 名 称	次第 資料1 「第3次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について（概要） 資料2 「第3次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について 資料3 今後のスケジュールについて
決 定 事 項	・本日の意見を踏まえ、「第3次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方につ いて修正し、市長へ答申を行う。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	1
所管部署（事務局）	環境部 環境保全課

## 審 議 内 容

### 1 開 会

会 長：ただいまから、令和元年度第 3 回枚方市環境審議会を開催いたします。新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、また年度末のお忙しい時期にご出席をいただきありがとうございます。では、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局：今日は、委員 22 名の内、14 名のご出席をいただいております。従いまして、枚方市環境審議会規則第 4 条第 2 項の規定に基づきまして、本審議会が成立していることをご報告申し上げます。なお、福岡委員におかれましては、大学側から外部機関への会議への出席は当然自粛するよう指示がありましたので、今日は Web 会議にてご出席をいただいております。

会 長：ありがとうございます。本日、傍聴希望の方はおられますか。

事務局：1 名おられます。

会 長：傍聴者の入室を認めますので、入室してもらってください。

#### 【傍聴者入室】

会 長：傍聴者の方にお伝えします。本日配布しました「傍聴にあたって」をご一読のうえ順守していただくようお願いします。また資料は閲覧用ですので、会議が終わりましたら事務局へ返却をお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、資料の確認を事務局からお願いいたします。

事務局：資料を確認させていただきます。

次第

資料 1 「第 3 次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について（部会報告の概要）

資料 2 「第 3 次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について 部会報告

資料 3 今後のスケジュールについて（案）

となっています。過不足はございませんでしょうか。

#### 案件 1 「第 3 次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について（部会報告）

会 長：平成 31 年 3 月に設置した環境基本計画作成部会において、第 3 次枚方市環境基本計画の検討が進められ審議をしていただきました。部会報告として取りまとめたいただいた結果をこれより報告いただき、その内容について委員の皆様よりご意見をいただきたいと思っております。いただいた意見は答申として集約し、後日市長に報告させていただく予定となっておりますのでよろしくをお願いいたします。それでは案件 1 「第 3 次枚方市環境基本計画」の基本的な考え方について（部会報告）、環境基本計画策定部会の花田部会長より報告をお願いいたします。

部会長：それでは、環境基本計画策定部会を代表して、私から部会報告の概要を説明させていただきます。第 3 次枚方市環境基本計画の策定について、市長から平成 31 年 3 月 11 日の審議会において諮問を受け、同日、会長の提案により、部会委員 11 名で構成する部会を設置、審議を行うことが決定され、部会において議論を進めてまいりました。

それでは、本日の資料 1 「第 3 次枚方市環境基本計画の基本的な考え方について（部会報告の概要）」の 29 ページをご覧ください。こちらに、これまでの部会や全体会の審議経過の概要を記載しております。平成 31 年 3 月の部会設置以降、3 月 11 日、7 月 2 日、10 月 10 日、12 月 2 日までの計 4 回、審議した後に 1 月 7 日の全体会で部会の中間報告を行い、審議会委員の皆様にもご意見を伺いました。その後、全体会のご意見も踏まえ、

2月4日、3月13日の計2回、部会を開催し、審議事項に対して検討を進め、部会として第3次枚方市環境基本計画の基本的な考え方を取りまとめることができましたので、本日ご報告させていただきます。部会報告の内容については、事務局から説明を行いますので、よろしくお願いいたします。

事務局：【資料1により説明】

会長：事務局よりご説明いただいた内容について、意見交換をさせていただきたいと思います。まず私から少し気になる点について申し上げたいと思います。資料1「②地球環境」に「脱炭素化を推進する」と記載がありますが、「化」とは「変わる」ということですので、「脱炭素に向けて変わるということを推進する」というもどかしい表現となっています。環境省も「脱炭素化」となっていますが、直接的に実現を目指すというご説明がありましたので、「化」を抜いた方がいいのではないかとも思いました。

部会長：「脱炭素化を推進する」とは脱炭素の動きを推進する、「脱炭素を推進する」とは既に脱炭素があり、それをさらに推進するということとなり、「脱炭素化を推進する」という表現の方が現状に合っていると考えています。

委員：「脱炭素」という言葉自体もおかしいという考え方もあり、炭素は有機物や食べ物にも含まれています。私は、「脱炭素化」とはエネルギー源やプラスチックといった一部の素材に含まれる炭素を指しているという理解をしていますので、「脱炭素化」の方が良いのではないかと思います。

会長：ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

委員：マイクロプラスチック等の問題もあり、資料1「⑤都市環境・生活環境」の同時達成に「14海の豊かさを守ろう」の項目を加えていることは前回ご説明をいただきましたが、資料2の25ページの「(3)生物多様性地域戦略に位置付ける具体的な施策」の「環境基本計画の該当項目」として「⑤都市環境・生活環境」が記載されており、施策の分野としても「開発時の自然環境への配慮」と記載されていますので、資料1では、「14海の豊かさを守ろう」ではなく「15陸の豊かさを守ろう」の方が、より地域戦略との整合性を図れるとともに、開発時の環境配慮の推進につながるのではないかと思います。

事務局：開発時の自然環境への配慮として「15陸の豊かさを守ろう」も関連があるのですが、「14海の豊かさを守ろう」は、まち美化に関する取り組みを実施することで海の豊かさを守ることにつながるとして、市において取り組んでいくこととなっていますので「14海の豊かさを守ろう」を外すのは難しい状況です。SDGSのゴールは最終的にすべてに関連してきますので、どのゴールが最も関連が大きいのかという視点で判断し掲載しています。「15陸の豊かさを守ろう」を掲載することも可能ですが、「⑤都市環境・生活環境」のゴールのボリュームが大きくなってしまいますので、検討が必要かと思えます。

委員：すべてつながってくることは理解しています。「15陸の豊かさを守ろう」が掲載されていないことがおかしいと思っているのではなく、地域戦略との整合性の部分が少し気になったというだけです。

部会長：枚方市としてグリーンインフラを推進していくのであれば、「15陸の豊かさを守ろう」を掲載すべきかと思いますが、部会での議論では「14海の豊かさを守ろう」を掲載するという結論に至りました。いかがでしょうか。

委員：わかりました。地域戦略の部分で触れていますので、これで良いと思います。

委員：資料2の18ページの(1)環境指標についてですが、基準年度である2018年度の市民1人あたりの1日のごみの量は826gであり、2030年度の目標値は820gとなっています。その下の表においては、2014年度の実績値は856gであり、2018年度までの5年間で

30g 減っているのにもかかわらず、2030 年度の目標値を 2018 年度から 6g 減らすことに止めているのは、どのような理由でしょうか。また、35 ページにも市民 1 人あたりのごみの量についてのグラフが記載されていますが、西暦もしくは元号表記とするのか、グラフのデータ年度の期間について、統一された方が良いと思います。最後に、用語集をつけていただき大変わかりやすいと思いますので、可能であれば 4R の 4 つめの R の説明も加えていただければと思います。

事務局：年号の表記や用語集については、修正させていただきます。目標値については、本市において、ごみ減量に関する計画があり、この計画の目標値にあわせています。ごみ減量に関する計画の見直し等が行われた際には、その目標にあわせていきたいと考えています。

委員：それであれば、ごみ減量に関する計画の目標値であることがわかるように記載した方が良いと思います。前倒しして計画の目標が達成されているのであればそれを評価し、今後さらに高い目標設定をするのか、別の指標を設定するのか検討をお願いしたいと思います。

部会長：ありがとうございます。同じ 35 ページの図 16 は性質上折れ線グラフではなく、棒グラフの方が正しいのではないのでしょうか。また、用語集については、3R と 4R を併記して説明を記載した方が良いのではないのでしょうか。最後に、27 ページの計画の進行管理についての図ですが、環境基本計画を PDCA で大きくまわし、「Do」の中で毎年 PDCA をまわしていくイメージかと思います。そうすると、「Do」の中の小さい「Check」の「事業計画進捗状況一覧の公表」に毎年公表している「環境白書」や「市のホームページ」を入れる方が良いのではないのでしょうか。

事務局：わかりました。

会長：委員の皆様からいただいたご意見等を踏まえて内容を調整し、答申として取りまとめを行います。近日中には市長に答申を行いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 案件 2 「今後のスケジュール」について

会長：それでは、案件 2 「今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料 3 により説明】

会長：ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見等はございますか。ないようですので、本日の案件は以上となります。ありがとうございました。